

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場会社名 藍澤証券株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8708 URL <http://www.aizawa.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藍澤 基彌  
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 藍澤 卓弥 (TEL) 03(3272)3119  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	11,053	△15.0	10,957	△15.1	2,120	△48.3	2,470	△50.4	2,345	△72.0
26年3月期第3四半期	13,005	91.7	12,909	92.4	4,098	—	4,976	—	8,371	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 3,892百万円(△62.3%) 26年3月期第3四半期 10,314百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	54.25	—
26年3月期第3四半期	193.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	93,854	53,831	57.4	1,245.37
26年3月期	86,371	51,447	59.6	1,190.22

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 53,831百万円 26年3月期 51,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年3月期	—	12.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

金融商品取引業の業績は、経済情勢及び市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、通常の業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であります。このような状況において業績予想を開示することは投資家等に誤認を与える恐れがあるため、当社グループは通常の業績予想を開示しておりません。それに代えて、四半期及び通期の業績速報値を、決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	49,525,649株	26年3月期	49,525,649株
27年3月期3Q	6,300,440株	26年3月期	6,300,431株
27年3月期3Q	43,225,215株	26年3月期3Q	43,225,316株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループの主たる事業は金融商品取引業であり、市場環境の変化により大きく変動する可能性があるため、当社グループは業績予想の開示を行っておりません。このため、配当予想額についても開示を行わず、期末において開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
5. 補足情報	11
<u>平成27年3月期 第3四半期連結業績報告</u>	
(1) 手数料収入	11
(2) トレーディング損益	11
(3) 連結損益計算書四半期推移	12
<u>平成27年3月期 第3四半期個別業績報告</u>	
(1) 株式売買高(先物取引等を除く)	13
(2) 引受・募集・売出しの取扱高	13
(3) 自己資本規制比率	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から12月31日まで)における世界経済は、米国では、経済指標の改善、主要企業の相次ぐ増収増益、アジア諸国では、インドの景気回復、インドネシアの5%以上の経済成長率維持、タイの政治混乱収束による消費の改善などを背景に底堅く推移しております。その一方で、欧州景気の停滞、中国の内需の鈍化が懸念されており、日本国内では消費税率引き上げによる個人消費の落ち込みなど先行き不透明感も出始めております。

国内株式市場は、4月1日の日経平均株価終値14,791円99銭から年初以来の調整局面を引きずり、4月14日に当第3四半期連結累計期間の最安値13,910円16銭に下落しました。その後、一進一退となり方向性の定まらない展開となりましたが、5月下旬に政府の成長戦略への期待感や内外経済指標の改善から緩やかに上昇に転じました。10月には、米国の量的金融緩和政策第3弾(QE3)の終了による利上げ懸念から一時的に下落する場面はあったものの、日銀の追加緩和決定により上昇を続け、当第3四半期末の終値は17,450円77銭となりました。

投資信託は、一般社団法人投資信託協会のデータによると、公募証券投資信託の純資産額は当第3四半期末に93兆5,045億円となり、前期末から13兆3,406億円増加いたしました。設定から解約・償還を差し引いた資金流入は6兆2,829億円の流入超過となりました。純資産額の増減の内訳は、株式投信が11兆4,402億円の増加、公社債投信が1兆9,004億円の増加、MMFが546億円の減少となり、株式投信の増加が投資信託全体の純資産額増加の主因となっております。

このような状況のもと、当社グループはお客様志向に徹した地域密着型営業を基本とする営業戦略に加え、独自性の高いアジア戦略の展開、ソリューションビジネスの展開等、お客様へより良い投資環境と幅広いサービスを提供してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の主な収益・費用の状況は以下のとおりです。

#### (受入手数料)

国内株式売買代金の減少により受入手数料は72億37百万円(前年同期比22.1%減)となりました。

#### (トレーディング損益)

米国株国内店頭取引売買代金の増加により、トレーディング損益は29億96百万円(同3.2%増)となりました。

#### (金融収支)

金融収益は5億21百万円(同1.1%増)、金融費用は95百万円(同0.1%減)となり、差引金融収支は4億25百万円(同1.3%増)となりました。

#### (販売費・一般管理費)

取引関係費の減少、人件費の増加、減価償却費の増加等により、販売費・一般管理費は88億36百万円(同0.3%増)となりました。

#### (営業外損益)

営業外収益は受取配当金2億75百万円等により3億71百万円、営業外費用は投資事業組合運用損18百万円等により21百万円となりました。これにより営業外損益は3億50百万円(同60.1%減)の利益となりました。

#### (特別損益)

特別利益は投資有価証券売却益により85百万円、特別損失は金融商品取引責任準備金繰入れにより30百万円となりました。これにより特別損益は55百万円(同98.7%減)の利益となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の営業収益は110億53百万円(同15.0%減)、営業利益は21億20百万円(同48.3%減)、経常利益は24億70百万円(同50.4%減)、四半期純利益は23億45百万円(同72.0%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は938億54百万円と、前連結会計年度末に比べ74億83百万円の増加となりました。主な要因は、現金・預金47億85百万円の増加、預託金53億80百万円の増加、信用取引資産45億79百万円の減少、投資有価証券24億15百万円の増加によるものです。

### ② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は400億23百万円と、前連結会計年度末に比べ50億99百万円の増加となりました。主な要因は、預り金53億86百万円の増加、受入保証金39億25百万円の増加、短期借入金22億円の減少、未払法人税等18億61百万円の減少によるものです。

### ③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は538億31百万円と前連結会計年度末に比べ23億83百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金8億10百万円の増加、その他有価証券評価差額金15億42百万円の増加によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、金融商品取引業を中核とする「投資・金融サービス業」を主な事業内容としていることから、その業績は、国内外の株価、売買高(売買代金)、金利、為替等の経済環境の変動による影響を大きく受ける状況にあります。また、自己勘定(トレーディング)取引においては、当該市場リスクに関し営業管理部において厳正なモニタリングを行っておりますが、これによるリスクの排除には限界があり、損益を大きく変動させる可能性があります。

このような状況の中、あらかじめ将来の不確定要因を的確に把握し、将来の市場動向を予想することは非常に困難な状況にあります。このため、当社グループは業績予想を開示しておりません。それに代えて四半期及び年間の業績速報値を決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が194百万円減少し、利益剰余金が151百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10百万円増加しております

3. 継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	11,137	15,923
預託金	14,020	19,400
顧客分別金信託	14,000	19,380
その他の預託金	20	20
営業投資有価証券	515	338
トレーディング商品	2,610	2,349
商品有価証券等	2,607	2,326
デリバティブ取引	3	23
約定見返勘定	1,331	359
信用取引資産	33,445	28,865
信用取引貸付金	33,245	28,370
信用取引借証券担保金	199	495
立替金	133	48
顧客への立替金	132	43
その他の立替金	0	4
短期差入保証金	120	100
その他の流動資産	603	1,411
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	63,916	68,795
固定資産		
有形固定資産	3,771	3,851
無形固定資産	162	160
投資その他の資産	18,519	21,047
投資有価証券	17,606	20,021
退職給付に係る資産	411	223
その他	716	1,013
貸倒引当金	△214	△211
固定資産合計	22,454	25,059
資産合計	86,371	93,854



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
トレーディング商品	56	44
商品有価証券等	20	6
デリバティブ取引	35	38
信用取引負債	3,657	3,068
信用取引借入金	2,747	1,468
信用取引貸証券受入金	910	1,600
預り金	9,250	14,636
顧客からの預り金	7,617	8,018
その他の預り金	1,632	6,618
受入保証金	6,179	10,104
短期借入金	8,025	5,825
未払法人税等	1,870	9
繰延税金負債	139	90
賞与引当金	550	317
役員賞与引当金	62	48
その他の流動負債	924	867
流動負債合計	30,715	35,012
固定負債		
繰延税金負債	3,520	4,283
退職給付に係る負債	53	52
その他の固定負債	472	482
固定負債合計	4,046	4,817
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	161	192
特別法上の準備金合計	161	192
負債合計	34,923	40,023
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,000	8,000
資本剰余金	8,050	8,050
利益剰余金	29,703	30,514
自己株式	△1,193	△1,193
株主資本合計	44,561	45,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,699	8,242
退職給付に係る調整累計額	186	217
その他の包括利益累計額合計	6,886	8,459
純資産合計	51,447	53,831
負債・純資産合計	86,371	93,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業収益		
受入手数料	9,290	7,237
トレーディング損益	2,904	2,996
金融収益	516	521
その他の営業収益	294	297
営業収益計	13,005	11,053
金融費用	96	95
純営業収益	12,909	10,957
販売費・一般管理費		
取引関係費	1,408	1,204
人件費	4,521	4,657
不動産関係費	741	714
事務費	1,384	1,405
減価償却費	105	189
租税公課	126	95
貸倒引当金繰入れ	△0	△0
その他	522	571
販売費・一般管理費計	8,810	8,836
営業利益	4,098	2,120
営業外収益		
受取配当金	266	275
投資事業組合運用益	543	—
貸倒引当金戻入額	5	2
その他	67	93
営業外収益合計	882	371
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	18
和解金	3	2
その他	1	1
営業外費用合計	4	21
経常利益	4,976	2,470
特別利益		
投資有価証券売却益	3,742	85
負ののれん発生益	711	—
特別利益合計	4,453	85
特別損失		
金融商品取引責任準備金繰入れ	54	30
特別損失合計	54	30
税金等調整前四半期純利益	9,375	2,525
法人税、住民税及び事業税	1,005	168
法人税等調整額	△1	12
法人税等合計	1,003	180
少数株主損益調整前四半期純利益	8,371	2,345
四半期純利益	8,371	2,345

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,371	2,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,943	1,542
退職給付に係る調整額	—	4
その他の包括利益合計	1,943	1,547
四半期包括利益	10,314	3,892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,314	3,892
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

### 平成27年3月期 第3四半期連結業績報告

#### (1) 手数料収入

##### ①科目別内訳

(単位：百万円)

区分	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同四半期比	前連結会計年度
委託手数料	7,610	5,037	66.2%	9,188
株券	7,489	4,891	65.3%	9,028
債券	0	—	—	0
その他	120	145	120.8%	158
引受け・売出し・特定投資家 向け売付け勧誘等の手数料	24	18	75.9%	41
株券	21	16	77.5%	39
債券	2	1	59.3%	2
募集・売出し・特定投資家向 け売付け勧誘等の取扱手数料	1,060	1,458	137.5%	1,439
その他の受入手数料	594	724	121.8%	816
合計	9,290	7,237	77.9%	11,486

##### ②商品別内訳

(単位：百万円)

区分	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同四半期比	前連結会計年度
株券	7,574	4,969	65.6%	9,165
債券	11	7	67.3%	12
受益証券	1,569	2,049	130.5%	2,126
その他	134	211	157.7%	182
合計	9,290	7,237	77.9%	11,486

#### (2) トレーディング損益

(単位：百万円)

区分	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同四半期比	前連結会計年度
株券等	649	1,985	305.8%	953
債券・為替等	2,255	1,011	44.8%	2,557
債券等	817	689	84.4%	902
為替等	1,438	321	22.3%	1,655
合計	2,904	2,996	103.2%	3,511

(3) 連結損益計算書四半期推移

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		
	第3四半期 H25.10.1 H25.12.31	第4四半期 H26.1.1 H26.3.31	第1四半期 H26.4.1 H26.6.30	第2四半期 H26.7.1 H26.9.30	第3四半期 H26.10.1 H26.12.31
営業収益					
受入手数料	2,866	2,196	2,237	2,444	2,556
委託手数料	2,306	1,577	1,479	1,706	1,851
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	5	17	0	15	2
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	345	379	508	466	482
その他の受入手数料	208	221	249	255	219
トレーディング損益	937	606	739	1,075	1,181
金融収益	175	185	177	172	172
その他の営業収益	129	86	103	97	96
営業収益計	4,108	3,075	3,258	3,789	4,005
金融費用	30	35	29	38	27
純営業収益	4,078	3,039	3,228	3,750	3,977
販売費・一般管理費					
取引関係費	453	378	363	399	442
人件費	1,569	1,456	1,452	1,602	1,601
不動産関係費	272	258	248	237	227
事務費	455	433	455	467	481
減価償却費	31	43	54	68	66
租税公課	32	25	29	34	32
貸倒引当金繰入れ	△0	0	△0	△0	△0
その他	179	184	189	192	189
販売費・一般管理費計	2,994	2,781	2,793	3,002	3,040
営業利益	1,083	257	435	748	937
営業外収益	160	77	173	70	127
営業外費用	3	0	2	22	△3
経常利益	1,241	334	605	796	1,068
特別利益	—	0	—	85	—
特別損失	△3	23	8	10	12
税金等調整前四半期純利益	1,244	311	597	871	1,056
税金費用	137	△47	7	97	75
四半期純利益	1,106	359	589	774	981

平成27年3月期 第3四半期個別業績報告

(1) 株式売買高(先物取引等は除く)

(単位:百万株・百万円)

区分	前第3四半期 累計期間		当第3四半期 累計期間		前年同四半期比		前期	
	株数	金額	株数	金額	株数	金額	株数	金額
合計	5,611	2,264,938	3,074	1,605,141	54.8%	70.9%	6,647	2,758,060
自己	262	216,225	155	227,442	59.5%	105.2%	323	277,188
委託	5,348	2,048,713	2,918	1,377,699	54.6%	67.2%	6,324	2,480,871
委託比率	95.3%	90.5%	94.9%	85.8%			95.1%	89.9%
東証シェア	0.27%	0.19%	0.23%	0.15%			0.26%	0.17%
1株当たりの 委託手数料	1円31銭		1円51銭				0円75銭	

(2) 引受・募集・売出しの取扱高

(単位:百万株・百万円)

区分		前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前年同四半期比	前期
引 受 高	株券 (株数)	0	0	90.2%	1
	株券 (金額)	611	312	51.1%	1,601
	債券 (額面金額)	585	319	54.6%	623
	コマーシャル・ペーパー及び外国証券 (額面金額)	—	—	—	—
の募 取 集 扱 売 高 出 ※	株券 (株数)	0	0	90.4%	1
	株券 (金額)	611	313	51.3%	1,601
	債券 (額面金額)	6,415	3,840	59.9%	6,453
	受益証券 (額面金額)	523,176	408,339	78.0%	638,195
	コマーシャル・ペーパー及び外国証券 (額面金額)	—	—	—	—

※ 募集売出しの取扱高は、売出高及び私募の取扱高を含んでおります。

(3) 自己資本規制比率

(単位:百万円)

区分		前第3四半期末	当第3四半期末	前期末
基本的項目 (A)		43,402	44,226	42,827
補完的項目	その他有価証券評価差額金(評価益)等	8,215	7,855	6,420
	金融商品取引責任準備金等	164	189	159
	一般貸倒引当金	0	0	1
計 (B)		8,380	8,045	6,581
控除資産 (C)		12,123	12,190	11,913
固定化されていない自己資本 (A)+(B)-(C) (D)		39,659	40,081	37,495
リスク相当額	市場リスク相当額	3,482	3,369	2,999
	取引先リスク相当額	809	666	771
	基礎的リスク相当額	2,549	2,840	2,726
計 (E)		6,841	6,876	6,498
自己資本規制比率 (D)/(E)×100		579.7%	582.8%	577.0%